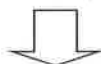


病床機能報告補足資料

- 1 病院名 桃泉園北本病院
 2 所在地 北本市深井 3 丁目 7 5 番地
 3 病棟数及び病床数 2 階病棟 60 床・3 階病棟 45 床・4 階病棟 47 床・5 階病棟 44 床
 病棟数 ○ 196 床

病床数（現在：2017 年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	22 床	174 床	196 床



(2025 年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	105 床	90 床	196 床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

上尾中央総合病院・北里大学メディカルセンター・行田総合病院
 さいたま赤十字病院・埼玉脳神経外科病院

・紹介先

大谷記念病院・上尾中央総合病院・さいたま赤十字病院・羽生総合病院
 伊奈中央病院

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 病棟	60 床	回復期	85 日	26.3%
診療科 リハビリテーション科				
診療実績 平成 29 年度実績 年間入院患者数は 64 名、うち脳血管疾患等リハビリテーション 40 名 (62.5%)、運動器リハビリテーション 19 名 (29.7%)、廃用症候群リハビリテーション 5 名 (7.8%) となります。入院時の重症患者割合 (日常生活機能評価 10 点以上) は 38.2%、退院時に日常生活機能評価が 3 点以上改善した患者の割合は 52.4% となります。回復期リハビリテーション病棟入院患者の 1 日当たり提供単位数は平均 8.67 単位となります。年間退院患者は 55 名、FIM 利得率 平均 23.8 点、実績指数 35.3、在宅復帰率は 73.1% となります。				
医療連携における課題、問題点 在宅へ帰る患者さんへ対し、新規でケアマネージャーを依頼する場合は MSW から連絡し依頼・家屋調査・担当者会議等、密に連携を行っている。 施設入所の場合、家族が希望する施設の待機が長く在院日数が伸びてしまう問題がある。施設の待機状況は MSW がその都度確認をしている。				
その他 10 月 1 日より、22 床から 60 床へ増床。今後は、60 床の病床を効率よく回転させていくことが大きな課題である。地域のリハビリ病院として、急性期から慢性期にかけての統合的なリハビリをスムーズに受け入れ出来るよう対策を行っていきたいと考えております。				

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
3 病棟	45 床	療養	90 日	80.6%
診療科 内科／循環器内科・外科／消化器内科・外科／泌尿器科／リハビリテーション科／人工透析内科				
診療実績 平成 30 年 10 月 1 日～地域包括ケア病床が 8 床稼働し始めました。 10 月 25 日現在病床利用率 87.5%、入院当日より退院先向けての働きかけを行っており、現在のところ全員在宅へ帰られております。 療養病棟の利用率は 86.4%。医療区分 2, 3 の患者さんが 9 割前後入院をしております。				
医療連携における課題、問題点 ○地域包括ケア病床での課題は、在宅へスムーズにご退院頂くため、各診療所の先生方、地域の訪問看護ステーション・ケアマネージャーとの連携をすみやかに行えるような体制作りを構築していく事が急務と考えられます。又必要に応じて各施設の空き状況も確認をし、把握をするように心がけております。				
その他 ○今後、地域包括ケア病床の増床を検討しております。在宅で治療困難な患者さんの引き受けや一時的な入院施設としての役割を担っていきたいと考えております。今後体制も強化し救急の患者さんもこの病棟で受け入れが出来るように整備してく予定です。今後も医師・看護師の継続的な確保計画を行っていく予定です。				

病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
4 病棟	47 床	療養	195 日	90.4%
診療科 内科／循環器内科・外科／消化器内科・外科／泌尿器科／リハビリテーション科／人工透析内科				
診療実績 平成 30 年 10 月 25 日現在、病床利用率 93.6% 疾患により重度の障害や入院継続が必要な患者さんが入院・治療をおこなっております。 4 階病棟は認知症の患者さんもお預かり出来るよう、セキュリティ対策を講じ、安全に療養継続できるような環境整備をいたしました。 歩行可能な認知症の患者さんも入院しているため、この病棟での医療区分の重症度は他の病棟より低く、平均 7 割となっておりますが、認知症症状の悪化に伴い、自宅での介護困難な患者さんの増加も考え、他の病棟と協力しながら病棟運営を行っております。				
医療連携における課題、問題点 医療行為の問題で自宅へ帰ることが困難な患者さんが多数入院しております。 症状が軽症化した時にすぐに帰宅できるような家庭環境作りの為、家族との積極的なコミュニケーションや、施設を探せるよう日々情報にアンテナを伸ばしております。				
その他 現在の療養病棟の待機者数は居ない状況ですが、日々お問い合わせをいただいております。10 月末を目標に満床を目指しております。				

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
5 病棟	44 床	療養	213 日	90.4%
診療科 内科／循環器内科・外科／消化器内科・外科／泌尿器科／リハビリテーション科／人工透析内科				
診療実績 在宅で通院治療が困難となった透析患者さんを中心にお預かりする、入院透析専門の病棟です。平成 30 年 10 月 25 日現在病床利用率は 86.3%。うち透析患者は 39.4%となっております。 回復期リハビリ該当の透析患者さんの受け入れも行なっており、回復期病棟での利用率は 25%と徐々に利用率も上昇しております。				
医療連携における課題、問題点 各医療施設からのお問い合わせ件数も徐々に上昇しております。地域の各診療所の先生方訪問看護ステーション・ケアマネージャーさんにも他病棟の説明と同様周知を図っていきたいと考えております。				
その他 ○今後、透析病棟の安定的な稼働を目指していきます。				